

平成 29 年度 第 4 回向日市社会教育委員の会議要旨	
日 時	平成 30 年 2 月 14 日 (水) 午後 2 時～ 4 時
場 所	図書館 研修室
出席委員	永井委員長、高畑委員、植田委員、安田委員、横田委員、梅田委員、河村委員、黒住委員、築山委員、田中委員
欠席委員	中本委員、太田委員
事 務 局	永野教育長、小賀野教育部長、野田副部長兼生涯学習課長、玉城副部長兼文化資料館長、井ノ上中央公民館長、大島図書館長、高田天文館長
内 容	議題 1 平成 30 年度社会教育関係団体等への補助金 (予算案) について 議題 2 平成 29 年度社会教育関係事業報告について 議題 3 平成 30 年度社会教育指導の重点 (案) について 議題 4 その他事項
教育長 委員長 生涯学習課長 委員 生涯学習課長	○開会挨拶 ○挨拶 ○議題 1 平成 30 年度社会教育関係団体等への補助金 (予算案) について ー小中学校 P T A、青少年健全育成関係団体、子ども会、スポーツ関係団体への補助金交付について説明ー <質疑なし> ○議題 2 平成 29 年度社会教育関係事業報告について ー生涯学習課、中央公民館、図書館、文化資料館、天文館事業について順次説明ー <質 疑> 【生涯学習課事業について】 まなぼうやへの支援はどのようなものなのか。金銭的な支援は行っているのか。 定例会への出席や広報の掲載などの支援を行っている。金銭的な支援は特に行っていない。

委員	<p>人権研修会について、第1回目はワークショップ形式、第2回目は講義形式であった。講義はわかりやすかったが、参加者同士が話し合いをする中で自分の意見をまとめられる学びが今は求められているかと思う。そのような講座を行う際には人手が必要であるため、社会教育委員がお手伝いできれば良いと思う。</p>
委員長	<p>人権擁護委員も積極的に活用していただけて良いと思う。</p>
委員長	<p>ジュニア・リーダー養成講座について、受講した人が、年少の人達に対してどのように関わっているのか、人数的な部分も含めて教えていただきたい。</p>
生涯学習課長	<p>ジュニア・リーダー養成講座（対象：小学5年生～中学生）を受講していた人については、「子ども会指導者連絡協議会『大地』」への参加を案内しており、高校生や大学生のメンバーが当講座のリーダー的な役割として、プログラムの企画や当日の進行などを行っている。人数は、現在は5～7名のメンバーで活動している。</p>
委員	<p>地域で支える学校教育推進事業について、学校の求めに応じてということだが、実際に希望したものができているのか。</p>
委員	<p>校長が変わるたびに求めるものが変わると混乱するため、各校、今までの流れを踏まえつつ、支援内容を考えているかと思う。コーディネーターの方は、あくまでも学校が求めていることを行いたいとおっしゃっている。</p>
委員	<p>小学校では地域の団体と一緒に取り組んでおられる場合が多いようである。自分が参加している小学校については、学校から要望のあるもの、特に夏休みの学習支援などを中心にやっている。</p>
委員	<p>【中央公民館事業について】 ふしぎ発見理科教室については小学4年生からとなっているが、低学年を対象とした講座は考えていないのか。</p>
中央公民館長	<p>今のところは考えていない。京都技術士会に相談してみたこともあるが、テーマ的に難しい。</p>
委員	<p>【図書館事業について】 図書館は、夜は開館していないのか。研修室（自習室）はいつでも使えるのか。</p>
図書館長	<p>開館は午前10時から午後6時までである。研修室は基本的には行政関係の会議等で使用している。夏休みの自習室は、研修室が空いている日を子どもたちの自習のための部屋として使用した。</p>

委員	勉強する場所がほしいと思っている中高校生は多いと思う。行政としてそういう場所があれば良いと思う。
図書館長	近年は図書館で自習室を設けているところは少ない。また、図書館の中で自習室を設置すべきかどうか、行政として他の施設で自習室を作るという考え方もあるかと思う。図書館としては本を読まれる方、借りに来られる方が主となるため、自習室として場所を確保するのは難しいのが現状である。
委員長	自習室の利用は小学5年生以上で38人と書いているのが、小中高の割合はわかるか。
図書館長	ほとんどは小学生である。
委員	自習室の開放は今年度からであるが、強い要望があったのか。それとも図書館で自主的に実施したものなのか。
図書館長	図書館に常設の自習室があれば良いという意見は聞いていたため、夏休みの研修室の空いているときだけでもということで、図書館で自主的に実施した。
委員	市として教育に関する大きな目標があり、それを具体化する中で自習室を設けるという考えが出てくれば良いと思う。
委員長	今年度は試験的な部分もあるかと思うが、ぜひ来年度も続けていただきたい。
委員長	【文化資料館事業について】
委員長	今年度は乙訓郡誌について、力を入れて取り組まれており、特別展の参加者も多かったのではないかと思います。参加している人の多くは向日市民か。
文化資料館長	市内で重点的に広報しているため、向日市民が多くを占めている。向日市のことだけでなく、かつての乙訓郡を順番に取り上げているため、それぞれの地元のところにより関心が高い傾向である。向日市の方はどの回も一定数の参加があり、総じて乙訓地域全体について、関心を喚起できたのではないかと思います。
委員長	暮らしのなかの戦争展を毎年やっているが、資料は毎年だいたい同じものか。新たなものが加わることもあるのか。
文化資料館長	今年度に関しては新たな資料はあまりなかったが、比較的毎年、市民の方から戦争のときの物がまとまって寄贈されるため、新たに寄贈されたものを紹介することが多い。
委員長	文化資料館が広報などで戦争時の物を募集しても良いのではないかと思います。

委員	<p>【天文館事業について】</p> <p>先日の皆既月食は何か事業を行ったのか。</p>
天文館長	<p>その週に観望会を実施していたため、その日に特別に観望会をしたわけではないが、問い合わせなどにはお答えした。</p>
委員長	<p>広報活動のおかげで、多くの市民が、今、天文館が何をやっているのかを知ることができるようになったと思う。</p>
委員	<p>いろいろな企画もできており、良い方向を向いていると思う。ただ、天文館がどこにあるのかわからない人がいるのではないかと思う。</p>
委員長	<p>駐車場がないのが不便ではある。</p>
委員	<p>入館者の市民・市外の割合はどのような割合か。</p>
天文館長	<p>28年度は、団体投影については市内25%・市外75%、観望会については市内45%・市外55%である。その他の事業については、小学校と関連している事業が多いため、市内65%・市外35%である。一般投影に関しては、一部聞き取りを行ったところ、市内が4割ぐらいである。</p>
委員長	<p>【文化財調査事務所事業】</p> <p>今回の資料は見やすいと思う。細かいところまで載っており、わかりやすい。</p>
委員	<p>【全体を通じて】</p> <p>地域で支える学校教育推進事業について、従来は「学校支援地域本部事業」で取り組まれていたかと思うが、違いはあるのか。</p>
生涯学習課長	<p>活動の内容としては、今までと同様であるが、平成27年12月の中教審の答申で「地域と学校の協働」という理念が出ており、京都府も30年度からは「地域学校協働活動」という国の事業名に統一してきた。本市もその理念を取り入れていきたいと考えているが、従来通り地域の皆様のご協力をいただいで取り組む事業という点は変わらない。</p>
生涯学習課長	<p>○議題3 平成30年度社会教育指導の重点（案）について</p> <p>—「社会教育指導の重点」（案）について説明—</p>
委員	<p><質 疑></p> <p>地域学校協働活動について、拡充というのは中身についてなのか、取組校についてなのか。</p>

生涯学習課長	向日市ふるさと創生計画で掲げている平成 31 年度までに全校実施という目標に向かって進めているが、30 年度については、1 校増えるということではなく、取組の内容を拡充していくという内容である。
委員長	人権教育・啓発推進のところで、昨今の同和教育がさまざまな人権問題と一緒に論じられることが多いなか、「同和問題」という言葉を残されたのは意味があると感じた。
事務局	<p>○議題 4 その他事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乙訓社会教育委員等連絡協議会研修会について ・家庭教育講座について ・次年度の日程調整について ・市役所東向日別館の移転について（周知） <p style="text-align: center;">＜ 閉 会 ＞</p>